

平成 30 年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 南幌町商工会 経営発達支援委員会
2. 開催日時 平成 31 年 3 月 18 日 (月) 13 時 00 分
3. 開催場所 南幌町商工会館 2 階 研修室 A
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 南幌町産業振興課 商工観光グループ 主幹 黒島滋規
南幌町農業協同組合 総務部長 伊藤英樹
北海道商工会連合会 組織経営支援部
企業支援課 主査 工藤大幸
 - (2) 商工会 会 長 松田保則
副 会 長 和田 修 吉田義哉
部 会 長 境 憲明 (工業) 細川義雅 (サービス業)
事務局長 渡邊英俊
経営指導員 長谷川次人

5. 内容

定刻となり、事務局が開会を宣し、松田商工会長が開会挨拶を行った後、事務局より支援委員を紹介し、議事に入る。

1. 経営発達支援計画及び平成 30 年度伴走型小規模事業者支援推進事業について

(1) 経営発達支援計画 (概要) について

事務局は、別紙資料に基づいて説明した。

(2) 平成 30 年度伴走型小規模事業者支援推進事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会により PDCA を機能させていくことを説明した。

平成 30 年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業を別添資料に基づき説明した。

◆平成 30 年度伴走型小規模事業者支援推進事業実績報告書

I 事業計画策定支援

具体的事業内容

①創業セミナー・個別相談会 (9/20)

専門家によるセミナーと個別相談会を開催した。

受講者 セミナー5名 個別相談会 0名

- 成果等
- ・創業に関する基礎知識が習得できた。
 - ・事業計画策定の重要性が理解できた。
 - ・町内に創業予定者がいることが分かった。

②創業セミナー・個別相談会（10／11）

専門家よるセミナーと個別相談会を開催した。

受講者 セミナー6名 個別相談会0名

成果等 ・営業、マーケティング戦略の理解を深めることができた。
・出席者が創業等の想いを話し合い、情報を共有することができた。

③事業承継セミナー・個別相談会（10／18）

専門家よるセミナーと個別相談会を開催した。

受講者 セミナー5名 個別相談会0名

成果等 ・事業承継に関する基礎知識が習得できた。
・事業承継を検討している企業を把握し、フォローアップできた。

④販路開拓支援セミナー・個別相談会（11／15）

専門家よるセミナーと個別相談会を開催した。

受講者 セミナー8名 個別相談会2名

成果等 ・マーケティング戦略策定の手順を習得できた。
・IT普及による消費者行動の変化とその対応について理解を深めました。

⑤販路開拓支援セミナー・個別相談会（11／29）

専門家よるセミナーと個別相談会を開催した。

受講者 セミナー4名 個別相談会1名

成果等 ・マーケティング戦略策定の手順を習得できた。
・IT普及による消費者行動の変化とその対応について理解を深めました。

II 新たな需要の開拓に寄与する事業

具体的事業内容

①なまらいいっしょ北海道フェア 2018 出展（11／3・4）

主催者 北海道商工会連合会

場 所 東京都三軒茶屋ふれあい広場

来場者 25,000人（14,000／11,000）

出展者 2社（日生バイオ㈱、ことぶきや）

支援者 職員2名

成果等 ・試飲等を通じて、客とのコミュニケーションが図られた。
・想定していた販売金額より売れた。
・サンプル付チラシ500枚配付したので、ふるさと納税返戻品が期待できる。
・三軒茶屋商店街役員やイベント出展者と名刺交換でき、今後の販路開拓に期待できる。
・提供商品の量を考えさせられた。

②ことぶきや祭り開催（2/9～11）

主催者 ことぶきや

場 所 ことぶきや1階（物販）、2階（飲食）

来店者 582人（内江別市民365人／約63%）

成 果 ・新規客が多く来た。

・宣伝効果が大きかった。

・リピーターにつながる可能性が広がり、売上げの増加が期待できる。

Ⅲ支援ノウハウ等の情報交換

具体的事業内容

①伴走型支援の円滑な実施に向けたノウハウ向上の取組み（6/13）

内容～伴走型小規模事業者支援推進事業に係る経理、事務処理と効果的な支援事例についての研修

参加～職員2名

成果～伴走型小規模事業者支援推進事業の円滑な実施のため、全国の効果的な支援事例の習得や事務処理、経理処理手続き等研修した。

（2）平成30年度経営発達支援事業報告について

事務局より、別紙資料に基づき説明した。

（3）平成31年度事業計画及び予算について

事務局は別紙資料に基づき、伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して平成31年度の事業の実施を計画している旨の説明を行った。

（4）事業の評価・見直し結果の内容について

各委員からの意見等は下記のとおりです。

細川委員～事業評価シートの5. 需要動向調査に関することですが、D評価になっているので、目標達成できるよう努力してほしい。

工藤委員～日経テレコンなど費用をかけずに需要動向調査ができるので、活用してほしい。

事務局 ～連合会にも相談しながら推進したい。

細川委員～6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関することですが、なまらいいっしょ北海道出展募集に関して、幅広く周知してほしい。

また、平成31年度に飲食店共同チラシを作成して新規顧客を開拓する事業を計画してほしい。

事務局 ～サービス業部会と協議、相談しながら推進したい。

境委員 ～セミナーの開催に関して、開催内容、時間帯など工夫が必要だ。

事務局 ～検討したい。

工藤委員～各委員の意見等を参考にして今後の事業を組み立てて実施していくこと。

また、経営発達につながる個社支援に沿った事業を取組むこと。

その他、会長は意見等を求めたが特に発言はなく、支援委員会を閉会した。

時に 14 時 05 分